

スギノマシン

NEWS LETTER

2025.10
創刊号 (No.1)



本社・早月事業所内にある創業者・杉野林平像前で、2025年9月撮影

スギノマシンについて



産業機械メーカーの当社は、「切る・削る・洗う・磨く・砕く・解(ほく)す」の6つの「超技術」を誇り、自動車、航空機、インフラ、エネルギーから医薬品、食品など幅広い産業に商品を届けています。常時5,000社以上と取引し、売上高の半分は海外が占めるなど、グローバルに展開している会社です。

創刊にあたって

日ごろよりスギノマシンをご支援いただき、誠にありがとうございます。

このたび、当社の半期ごとの注目トピックスをまとめたニュースレターの創刊にあたり、一言ごあいさつ申し上げます。

当社は創業時からお客様のご要望にお応えし、社会に貢献する商品をつくらうと、技術を磨いてまいりました。また、地域の学校などと連携したさまざまな活動を通して、次世代の育成にも積極的に取り組んでおります。

2036年は、当社の創業100周年にあたります。今後も、日本の地方都市(ローカル)に根差して「超技術」を駆使した商品を開発・製造し、世界(グローバル)で戦う、そして、「どうして

もスギノマシンでなければ」というニッチ市場でトップをとっていく、という「グローバルニッチリーダー戦略」を発展させながら、新たなスギノマシングループを作り上げていく所存です。その先の100年においても、世界中の生活を下支えし、必要とされ続ける会社でありたいと思っております。

このニュースレターは、そんな当社のことを皆様にもっと知っていただくためのものであり、当社のトピックスや地域・社会に向けた取り組みなどを春と秋にお届けする予定です。ぜひ毎回お読みいただき、スギノマシンをより身近に感じていただければ、ありがたく存じます。

代表取締役社長 杉野 岳

2025.4-

- 4/1 入社式
- 4/16-18 展 インターモールド2025(東京)
- 4/28 スギノタワーパークラフト公開
- 5/12 完全自動の切削加工機「TTMC」アルムと合同記者発表
- 5/14-16 展 高機能セラミック展 (大阪)
- 5/15-16 展 最上級仕上げ加工技術展 (東京)
- 5/29 日本海ラボ共催イベント
- 6/4 レーザー焼け取りロボットシステムの開発を発表
- 6/5-6 展 関西ロボットワールド (大阪)
- 6/9 「はやつき水の恵みでんき」利用開始を発表 (民間第一号)
- 6/19 「カターレ富山"夢教室"」本年度分スタート (9月まで計10回)
- 6/26 代表取締役社長が交代
- 7/9-11 展 インターフェックスジャパン (東京)
- 7/12 カターレ富山"夢教室"・特別版&水戸戦 PV
- 7/16 富山高専コラボ型授業 最終発表会
- 7/16-18 展 Japan Bakery & Sweets Show (東京)
- 7/16-19 展 MF-TOKYO (東京)
- 7/28-8/1 TTMC & 爆速切削見学会
- 8/1 夏休み親子見学会 (読売新聞北陸支社主催)
- 8/6 小学生職場体験イベント「ジョブキッズとやま」
- 9/11-12 展 仕上げ加工技術展 (静岡)
- 9/17-19 展 国際二次電池展 (東京)
- 9/18 テレビ東京「カンブリア宮殿」放映

展 … 展示会出展

このラインは富山県にそびえる立山連峰をかたどったものです。3,000m級の山々が連なり、四季折々の絶景を楽しむ山として地元や観光客に親しまれています。

PICK UP NEWS

当社技術で社会課題解決に挑戦 富山高専とコラボ授業

7/16

当社は、富山高等専門学校と今年4月から企業コラボ型授業を実施し、学生たちが当社の技術を用いて、社会課題の解決に向けた研究、製作活動を行いました。富山高専とのコラボ授業は当社初の取り組みです。



学生が挑んだテーマは、▽「超高压水技術」(ウォータージェットカットを利用した組立式家具の製作)▽「ロボット技術」(当社製 AMR を利用した自動搬送アタッチメントの製作)▽「セルロースナノファイバー」(BiNF-i-s を利用した植物培養)。専攻科1年生のうち、3グループ11名に対し、当社はアイデアの具現化や施策の実現に向けたサポートをしました。

7月16日に取り組みの成果を披露した学生からは、「企業の技術者と直接意見交換をしながら、ものづくりができる機会は貴重だった」「大量生産の実現性や製品の強度といった思考の大切さを学んだ」といった声が聞かれました。

子どもたちがものづくりの現場を体感

8/1・8/6

夏休み中の子どもたちを対象に、本社・早月事業所で工場見学と職場体験をそれぞれ開催し、ものづくりの現場に間近に触れていただきました。



8月1日の「夏休み社会見学会」では、富山県内の小中学生と保護者など

計26名が工場や展示室を見学。また、8月6日の「ジョブキッズとやま」では、小学生10名がウォータージェットカットを使い、金属板をホタルイカの形に切断する「お仕事体験」をしました。子どもたちは装置が動く様子に興味津々で、「水で何でも切れてすこい」と大喜びでした。

情報・ドキュメンタリー番組 「カンブリア宮殿」に取り上げられました

9/18

8~9月にかけて、テレビ東京の「日経スペシャル カンブリア宮殿」に密着取材をしていただき、9月18日に番組が放映されました。当社の創業から現在までの歩みや「超技術」への発展が紹介され、杉野岳社長が地域貢献への思いなどについて熱く語りました。日ごろお世話になっているお客様にも、当社の技術に関して取材に応じていただくなど、お力添えいただきました。ご協力、ご視聴いただいた皆様にこの場を借りて御礼申し上げます。



起業や新規事業、キャリアについてトークセッション（共催：日本海ラボ） @スギノマシンラウンジ

5/29

新規事業創出などを手がける(株)日本海ラボとタイアップし、同社の新田洋太郎社長と当社の杉野岳副社長(当時)が、起業家などゲスト3人と「未来のつくり方はひとつじゃない～スタートアップ×新規事業×キャリアの選択肢～」を演題に語り合うイベントを開催し、多くの方にご来場いただきました。

それぞれの立場から、起業や新規事業にまつわるエピソードや、スタートアップとの関わり方など、「未来のつくり方」を語り合いました。「起業を支援する人には、理念と一緒に実現する仲間になってほしい」「創業以来、挑戦を続けてきたから地方で生き残ってこられた」など、さまざまな意見が交わされ、一人一人の熱い思いが伝わってきました。



夢の現在地 カターレと当社・2人の社長が対談 @スギノマシンラウンジ

7/12

(株)カターレ富山の左伴繁雄社長と当社の杉野岳社長が夢について対談する「カターレ富山」夢教室”・特別版”とJ2リーグ水戸戦パブリックビューイング(PV)を開き、多くの方にお越しいただきました。

左伴社長は、日産自動車の生産部門勤務後、横浜F・マリノスなどプロサッカーチームの経営に携わるように。65歳を過ぎて縁もゆかりもなかった富山で、その手腕を振るってきました。一方、杉野社長は「若い時には、社長になる日が来るとは思っていませんでした。人生何があるかわからないが、やるべきことを精いっぱいしてきたことが今につながっている」と自身の歩みを紹介しました。

今の夢について左伴社長は、「『カターレが富山にあって良かった』という人を増やすこと」「人が自分に求めてくれることを実現するのが自分の夢」と話しました。「困難や挫折を乗り越えて夢を叶えるには？」というテーマには、「挫折したことはない。下を向いている暇があれば、リカバリーショットを打て、と思う」と左伴社長。これに杉野社長は「本当に同感。必要とされ、それをやり切るのが自分の存在意義」「辞めるとか逃げるとかという選択肢はない。…今の部分は参考にならないかもしれないですね」とユーモアを交えて語り、会場の笑いを誘っていました。

後半のPVでは、カターレ富山に熱いエールを送り、ご来場いただいた皆様に本イベントを楽しんでいただきました。



スギノマシンラウンジについて

富山大学にある学生会館内のラウンジは、当社がネーミングライツ（施設命名権）を取得し、2024年4月から「スギノマシンラウンジ」の愛称で利用されています。これを機に、スギノマシンラウンジでは、さまざまなイベントを随時開催しています。

上記イベントの当日の様子はKNBポッドキャストステーション「スギラジ@スギラジ」(radiko/Spotify)からお聞きいただけます。



COLUMN

「グローバルニッチリーダー」を掲げるスギノマシン 本社ってどんなところにあるの？

スギノマシン本社は、富山県東部に位置する人口3万人余りの滑川市にあります。富山湾に面し、青白く神秘的な光を放つホタルイカは春の風物詩としても有名です。市中心部から少し離れたスギノマシン本社の周りは、田んぼが広がり、晴れた日には標高3,000m級の雄大な北アルプス・立山連峰を望むことができます。私たちはこの地を拠点に、世界で必要とされる機械を製造しています。本社にお越しの際は、写真のような四季折々ののどかな景色で心を和ませてください。



9月



4月



5月



6月



7月



8月

編集後記

創刊号をご覧いただき、ありがとうございます。いかがでしたでしょうか？

本社前に広がる田んぼでは、ゴールデンウィーク後に植えられた時はまだ背の低かった苗が、今夏の猛暑（酷暑）に耐え、ぐんぐん成長し、8月には稲穂を实らせ、9月には収穫の時季を迎えました。日々成長していく様子に、こちらも励まされました。全国的な米不足はなかなか解消されませんが、汗水を流して米作りに励む農家の方々の苦勞が、私たちの食を支えてくれていると感じます。

分野は異なりますが、当社は6つの「超技術」をはじめとする技術の力で社会に貢献し続け、新コンテンツのこのニュースレターも皆様に実りある情報をお届けしていきたいと思っています。次回号もお楽しみに！



スギノマシン NEWS LETTER 創刊号 (No.1)
2025年10月1日発行

発行：株式会社スギノマシン 営業企画部
〒936-8577 富山県滑川市栗山2880番地
TEL：076-477-2556
Email：kikaku-t@sugino.com

HP



YouTube



Instagram



- 記載内容は2025年9月末現在のものです。
- 無断コピー・転載を禁止します。
- 敬称略